

第24号

東京都生協連 コープ災害ボランティア ネットワークニュース

2007年10月1日発行
東京都生活協同組合連合会
ネットワーク事務局
03-3383-7800

コープ災害ボランティア・リーダー養成講座 スタート！！

第7期 コープ災害ボランティア・リーダー養成講座が56名の受講生を迎え、スタートしました。

全8回コースのボランティア・リーダー講座が9月15日にスタートし、開講式と第一回の講座が開かれ、開講式では、伊野瀬東京都生協連専務理事、コープ災害ボランティアネットワーク的屋副代表の挨拶、東京災害ボランティアネットワーク上原事務局長から、受講生へメッセージが送られました。

第1講

●「阪神・淡路～そして三宅島」 私たちにできること

- ・パソコン紙芝居「仲間がいる、人がいる～1995.1.17を無駄にしないために～」
- ・DVD上映「三宅島帰島支援事業報告 2005年2月1日～2005年8月23日」
- ・新潟中越沖地震支援報告

●記念講演

「危機管理・防災とボランティア・リーダー」 講師:青山 侑 氏 明治大学大学院教授

台風カトリナによりニューオリンズでなぜ多くの犠牲者が出たのか、その要因は住民に読み書きができない人の多かったこと、地域コミュニティーの希薄であることがあげられ、後の対策と復興の課題について提起されました。

日本の災害については地震だけでなく、水害はもとより火山噴火にも目を向けることが大切であることを学びました。

また、災害時における市民活動の重要性にもふれられ、養成講座受講生への期待するとの言葉に今後の講座に向けて大きな力をいただく記念講演となりました。



中越沖地震支援活動 仮設住宅への引越し支援に駆けつけました。

コープネット、コープとうきょう、パルシステム連合会、東京マイコープ、東都生協、生活クラブ生協が支援を行いました。

大勢のボランティアが駆けつけました



住み慣れた家から荷物の運び出し



トラックに荷物を積み込みいよいよ出発です！

仮設住宅に荷物を収めます

9/1 防災の日

東京都・4市1町合同総合防災訓練に参加!!



2007年度の合同防災訓練は、東京都・昭島市・福生市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町合同総合防災訓練に参加。東京都生協連は1997年から継続参加、今年で11回目です。

東京都生協連の訓練内容は・・・①東京都生協連災害対策本部の設置（中野区本部会館と昭島現地会場）と運営 ②協定に基づく応急生活物資の緊急搬送訓練 ③通信訓練 ④パネル展示による活動報告 ⑤医療部会班による災害医療救護訓練（羽村会場）を行いました。

【昭島会場】

東京都生協連災害対策本部設置



伊野瀬専務理事を本部長に対策本部を立ち上げました

協定に基づく応急生活物資の緊急搬送訓練



パネル展示とクイズ



生協の支援活動をたくさんの方々に知ってもらう事ができました

通信訓練 (MCA 無線と衛星携帯)



【羽村会場】

災害医療救護訓練



医療部会班から医師、看護師、事務職員が参加し、負傷者の応急処置訓練を行いました

会員生協の取り組み

東京マイコープ★パルシステム連合会 耐震化推進シンポジウムより



阪神・淡路大震災でも、新潟県中越沖地震でも被害の多くは住宅の倒壊によるものでした。地震の被害から命を守る、暮らしを守る、まちを守るをテーマに地域密着型で住宅耐震化に取り組んでいる『財団法人 墨田まちづくり公社』『千葉県市川工業高校建築科』『平塚・暮らしと耐震協議会』の取り組みを伺いました。

こんな取り組みしています
ちょっと紹介!!

★財団法人 墨田まちづくり公社 『壊れないまちづくり』

老朽木造住宅が密集、災害の危険性が高い京島。

住民、区、公社が一体となり「壊れないまちづくり」として住宅耐震補強の取り組みをしています。

住宅耐震ってどんなことするの？
費用はどのくらいかかるの？

耐震住宅の見学も可能。
詳しくは 墨田まちづくり公社まで